



3月20日（金）、初期研修医とチーフレジデントの卒業式が行われました。毎年出席しながら、自分の若い頃のことを思い出します。チーフレジデントが終わって何だか気が抜けてしまい、目標を失ってしまった頃（もう18年前・・・）。医者として自分で道を選択し、成長していかななくてはならないということに気付くのが遅かった自分。若いときは勧誘を受けたり修了式や何だかんだと行事があるけれど、ある程度を過ぎてしまえばそれもなくなります。つまり自分にスポットライトが当たり続けることはない訳です。それでも精進して成長していかなければならないことを、これから少しずつ学んでいくことなのでしょう。

今は同期の仲間がたくさんいて羨ましい限りです。初期研修医の時の仲間を大切にすれば、年を取っても良き仲間であることなのでしょう。

今年度は人が去るのがとても寂しく感じられる年です。母親が息子を大学にやるとき、あるいはキタキツネの親が子ぎつねを親離れさせるとき、きっと同じような気持ちとなるのでしょう。

そして4月になると新しい人たちがやってきて、私達にエネルギーを与えてくれるのです。

当科にはスタッフが1名加わります。

佐藤 淑（さとう しゅく）先生です。

3月まで後期研修医として当院で働いていましたが、今月から正式に血液内科スタッフの一員となります。皆様、よろしくお願ひいたします。

<2014.3.20 江里ブログより抜粋>